

ASO田園空間博物館通信

Vol. 3

7月31日〜8月28日の約1カ月間にわたり「ASO田園空間博物館グランドオープン〜夏休み企画まつり」を催しました。その様子を2回に分けて紹介します。

ASO田園空間博物館 グランドオープン特集

7月31日、住民組織「ASO田園空間博物館」の本格始動に合わせ、関係者約百人が出席し開館式典を行い、これからの本格的な活動開始に、会員一丸となつて取り組むことを誓い合いました。その後開催した「Viento」のコンサートでは、250人が阿蘇を感じさせる壮大な音楽に酔いしれました。



→開館式の様子

期間中、総合案内所では阿蘇の草原を見つめ直し、次の世代に引き継いでいくことを願い、「草原文化展」では写真等の作品展示や草泊まりの製作をしました。また、「あおぞら市」では、新鮮野菜、阿蘇の土を使った工芸品、高菜漬等の加工品など阿蘇の特産品を販売しました。



ASO田園空間博物館
みんなで作ろう! 歴史のない博物館



▶ 若ケ原の高村貴生さん、内牧の湯浅陸雄さんの協力を得て、草泊まりを製作しました。期間後も案内所に設置しています。是非ご覧にお越しください。

再発見! 阿蘇の旅「サテライト・イベント」

ASO田園空間博物館の展示物は、地域資源(サテライト)です。自然景観、水、神社仏閣、地域の産業や住民の生活そのものを含めた有形・無形の地域資源を数多く有する阿蘇市。先人から受け継いだ大切な

地域資源を守り育てて、未来へと繋いでいくことはASO田園空間博物館の大きな取り組みです。今回のイベント期間中にサテライトを活用した散策や体験のイベントを開催しました。参加者の声を紹介します。

7/31 「山伏気分でレッツウォーキング!」(開催場所 坊中) 西蔵殿寺を中心に史跡・名所を地元の案内グループ『坊中さんさく隊』が案内をしました。案内人の畠林住友さんにお話をうかがいました。

坊中界隈の歴史を昔話、体験などを交え、私たち自身が楽しむながら案内をします。案内はもちろんですが、勉強会、街並み清掃などを商店、民宿、お寺が協力し、若い者も交えてやっています。案内を通して、お客様から阿蘇の素晴らしさを逆に入れて頂き、誇りに思えるようになりました。山伏コースを企画して、初めは墓が見所になるのかと思いましたが、「坊中らしさを感じる僧侶の墓が沢山あり、墓の形、彫つてある文字や年代などで当時に思いを馳せることができる」と意外に好評でした。これからも坊中の秘めた魅力を引き出して楽しく続けたいと思います。



坊中周辺が描かれた昔の地図の前で、説明を受けている参加者の皆さん

8/21 「そば」においてよ!波野高原(開催場所 波野) そばを打って、切つて、ゆでるまでを体験、6haのそば畑も見学しました。参加者に感想を聞いてみました。



地元の方の指導を受けながら、そば打ちに挑戦!自分で作ったそばの味は格別でした。

「神楽苑」では神楽を見学し、いかにして神楽が伝承されてきたかと神楽を受け継いでいく方々の魂を知りました。閉校になった小池野小学校を改装した「やすらぎ交流館」ではそば打ちを体験し、おいしいそばに舌づつみをうちました。そして、「乳の木」では、民話を聞き、昔の人の世界を感じ、そば畑では緑色の葉と美しい山と夏の青い空に癒されました。どの場所でもそれぞれが持つ「記憶」がひしひしと伝わり、そこに存在する全てのものに力強さを感じました。そして、その地域の様々な「記憶」が地域の方々のおかげで守られ受け継がれてきたのだと知る良い機会になりました。

問合せ先

ASO田園空間博物館総合案内所 (JR阿蘇駅前) Tel: 35 - 5077 / まちづくり商工観光課 Tel: 22 - 3174